

帯電することが確認された。これは飛雪現象を明確に説明できるのみならず、雷雲中の電荷分離現象の定性的な説明も或程度可能と思われる。以上の電荷分離の傾向は $-10^{\circ}\text{C}\sim-5^{\circ}\text{C}$ の範囲では全く変らなかった。

### 355. 織笠桂太郎(室工大)：粉体の摩擦帯電からみた雪片の摩擦帯電について

雪片の摩擦帯電現象を別の角度からみなおすことを目的とし、粉体(砂, カーボンブラック, フライアッシ

ュ, 関東ローム)をノズルからの圧縮空気で分散させた結果、発生するイオンは負が優勢で、相対的に大きな粒子は負に、小さい粒子は正に帯電することが判明し、雪片の場合と全く正反対の電荷分離が起こることが確認された。之は氷と粉体の導電キャリアの符号の相違によるものと考えられ、雪片も粉帯も定性的には Latham and Mason の温度差帯電の理論で説明できると思われる。

## 東レ科学技術賞および東レ科学技術 研究助成の候補者推薦について

販団法人東レ科学振興会より、下記のように第12回東レ科学技術費、第12回東レ科学技術助成の候補者推薦の依頼がありました。推薦希望の会員は**10月20日**迄に担当理事、北川信一郎(〒338 浦和市下大久保 255 埼玉大学理工学部 電話 0488-32-2111)に申出下さい。

### 東レ科学技術賞

1. 理工学の分野で学術士の業績が顕著なもの

2. 本賞 金メダル 副賞 250万円(2件以内)

### 東レ科学技術研究助成

1. 理工学の分野で基礎的な研究に従事しその研究成果が科学技術の進歩に貢献するところが大きいと考えられる研究を行なっている研究者又はそのグループ
2. 研究助成金総額1億円前後 1件1,000万円程度